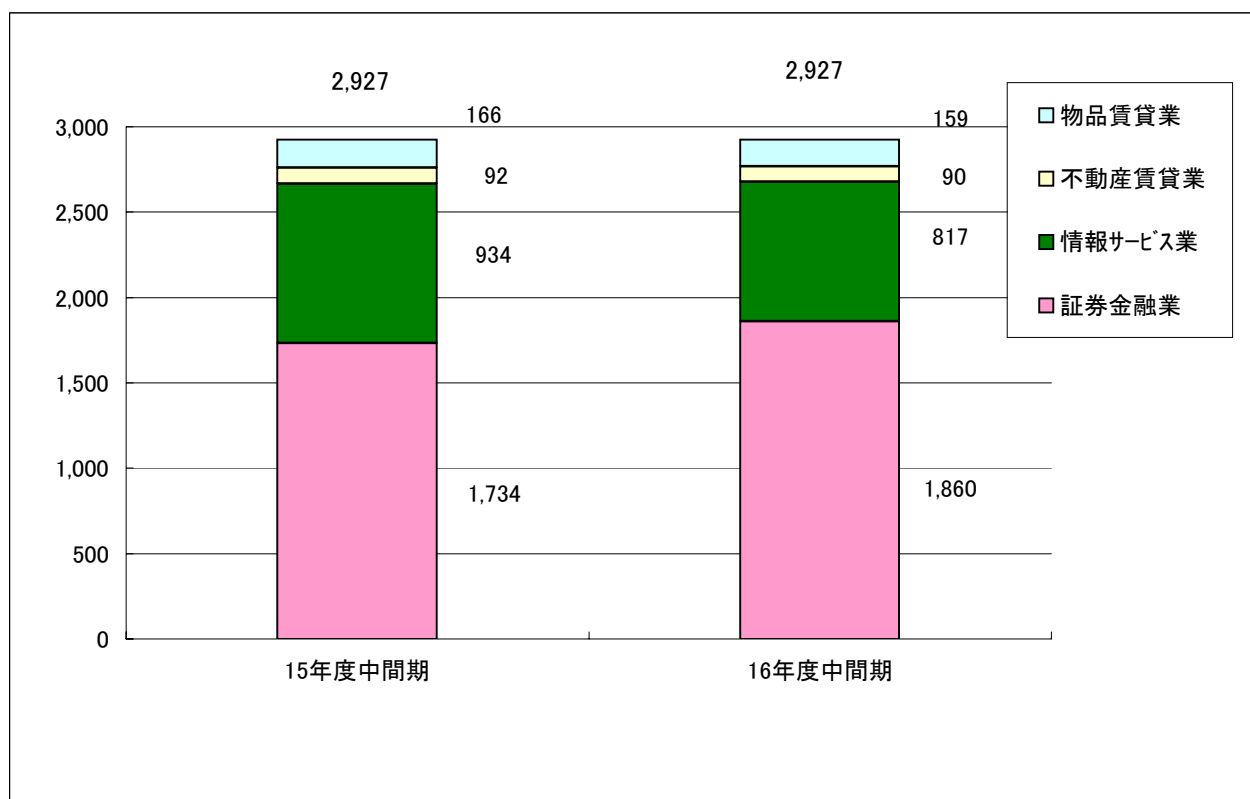


平成16年度中間連結決算の概要

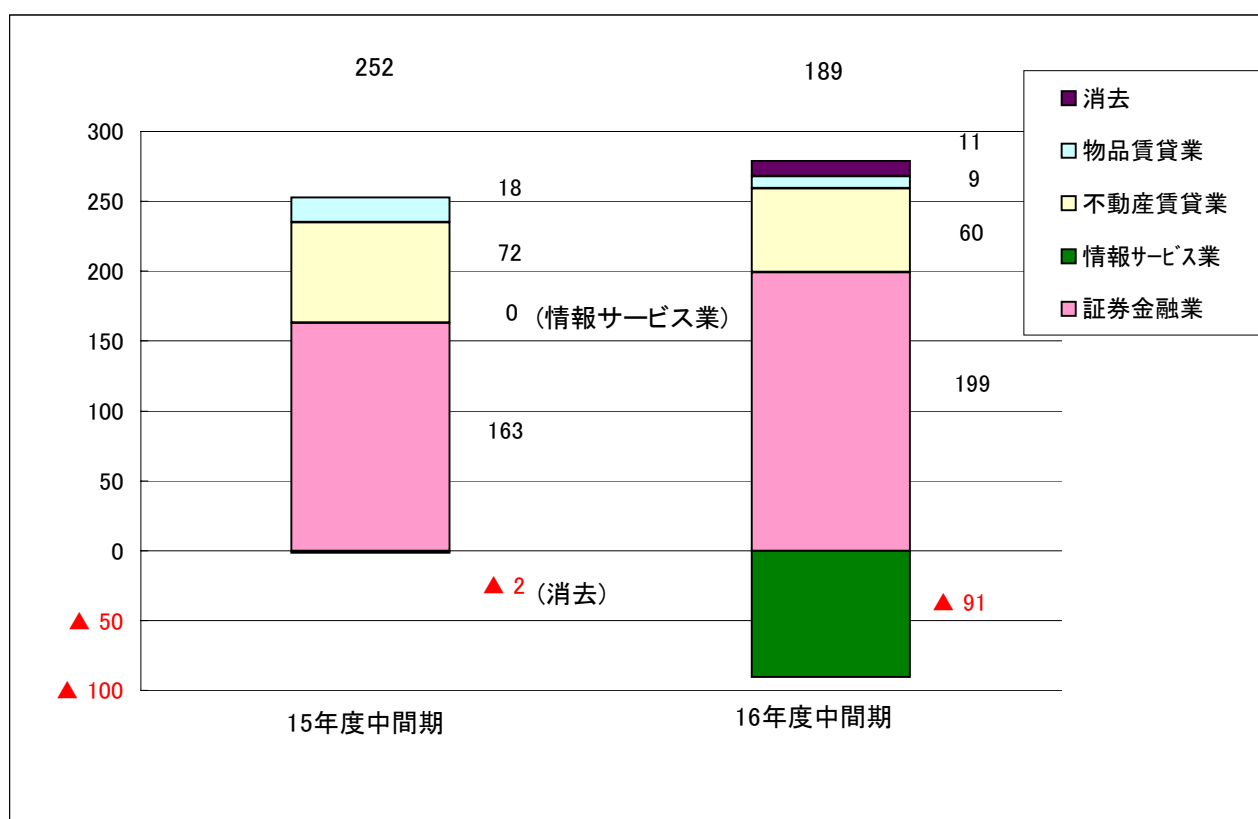
(単位:百万円)

(1) 連結営業収益 - 証券金融業は増収の一方、情報サービス業等の減収から横這い



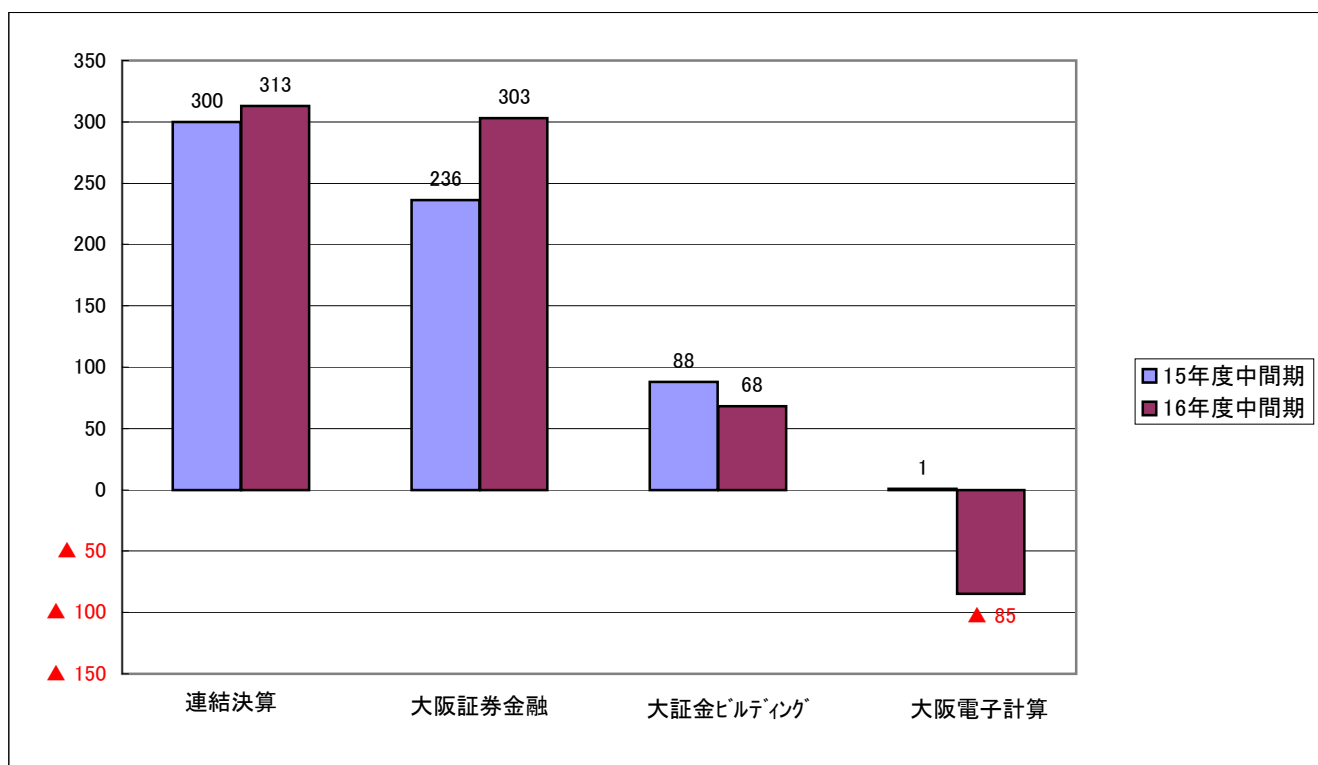
(単位:百万円)

(2) 連結営業利益 - 証券金融業は増益ながら情報サービス業の赤字計上等から減益



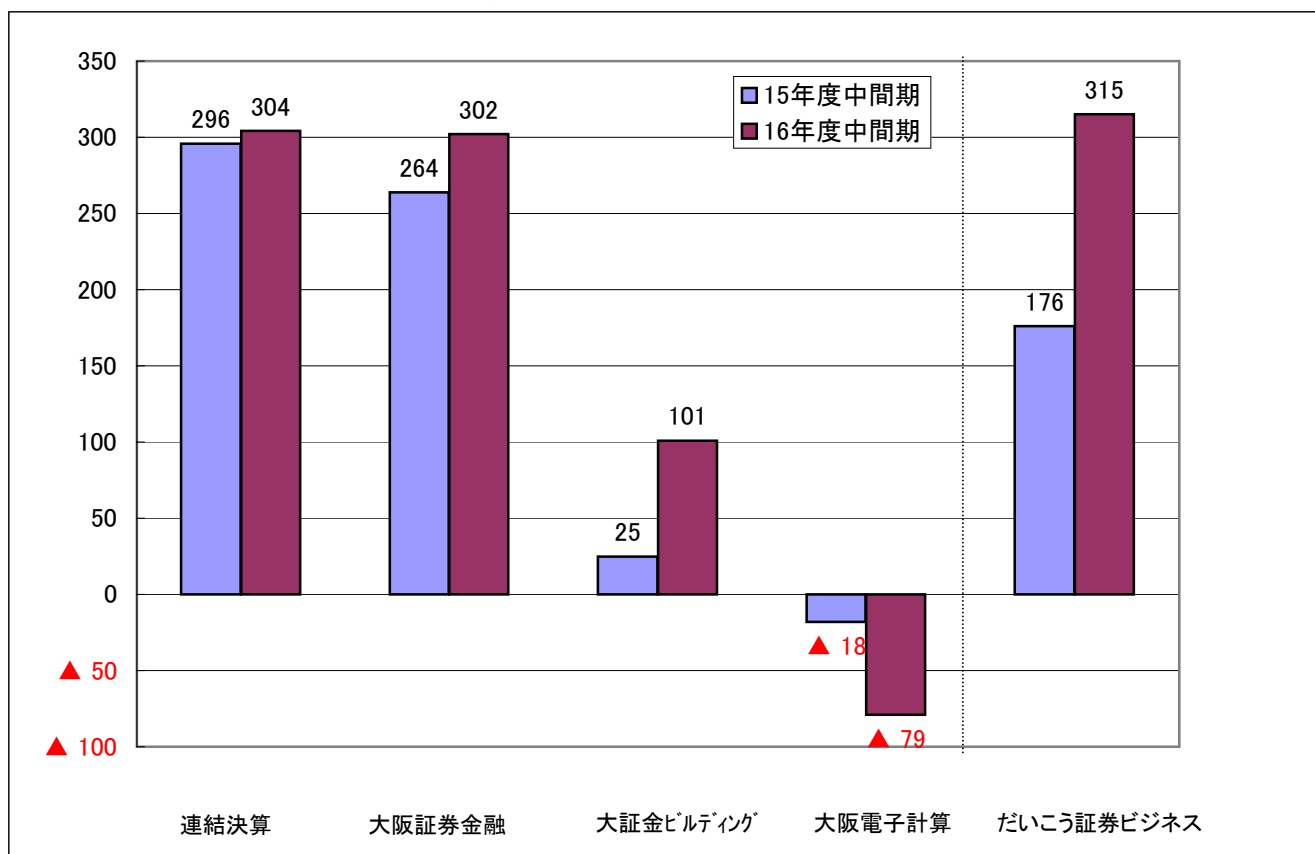
(3) 連結経常利益 - 大証金およびだいこう証券ビジネスの増益により微増益

(単位:百万円)



(単位:百万円)

(4) 連結中間純利益 - 大阪電子計算は赤字幅が拡大したものの、他社の黒字幅拡大により増益



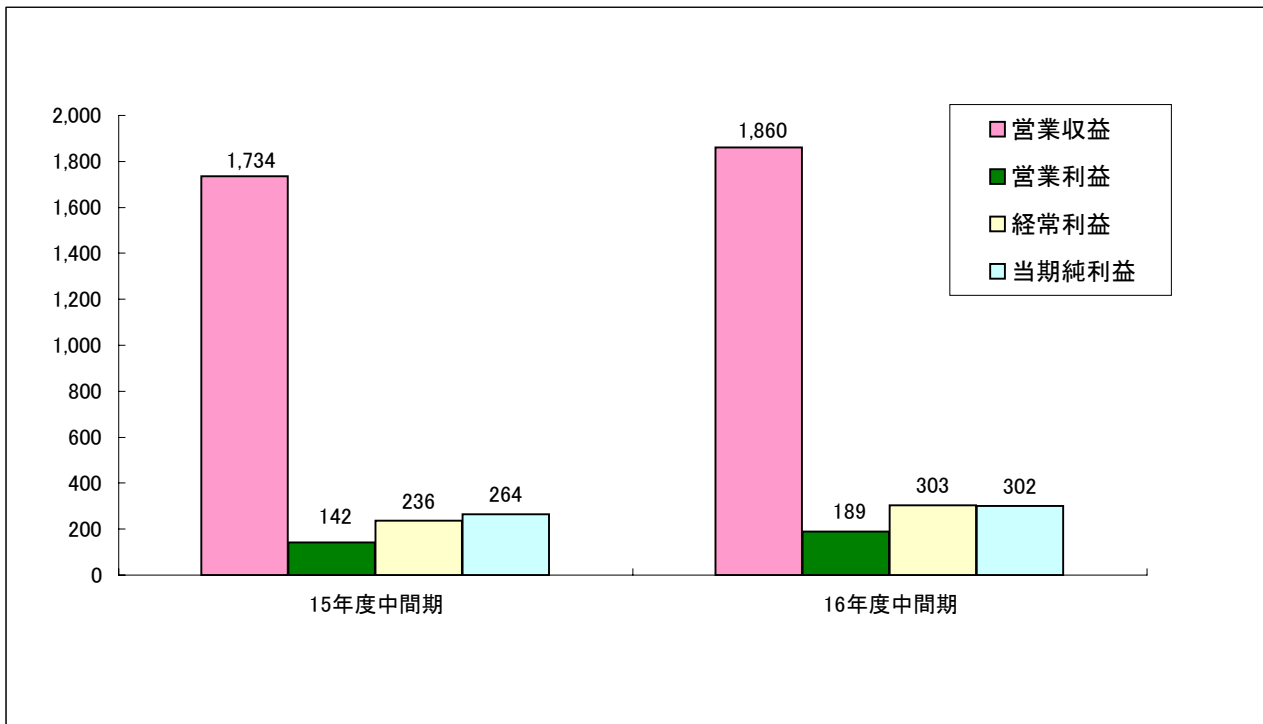
平成16年度中間決算(単体)の特徴

増収、増益

- 営業収益は、貸付金利息の増加を主因に増収(+125)
- 営業利益および経常利益は、一般管理費は増加したものの、営業収益の増加により増益(+46、+66)
- 中間純利益は、経常利益の増加から増益(+37)

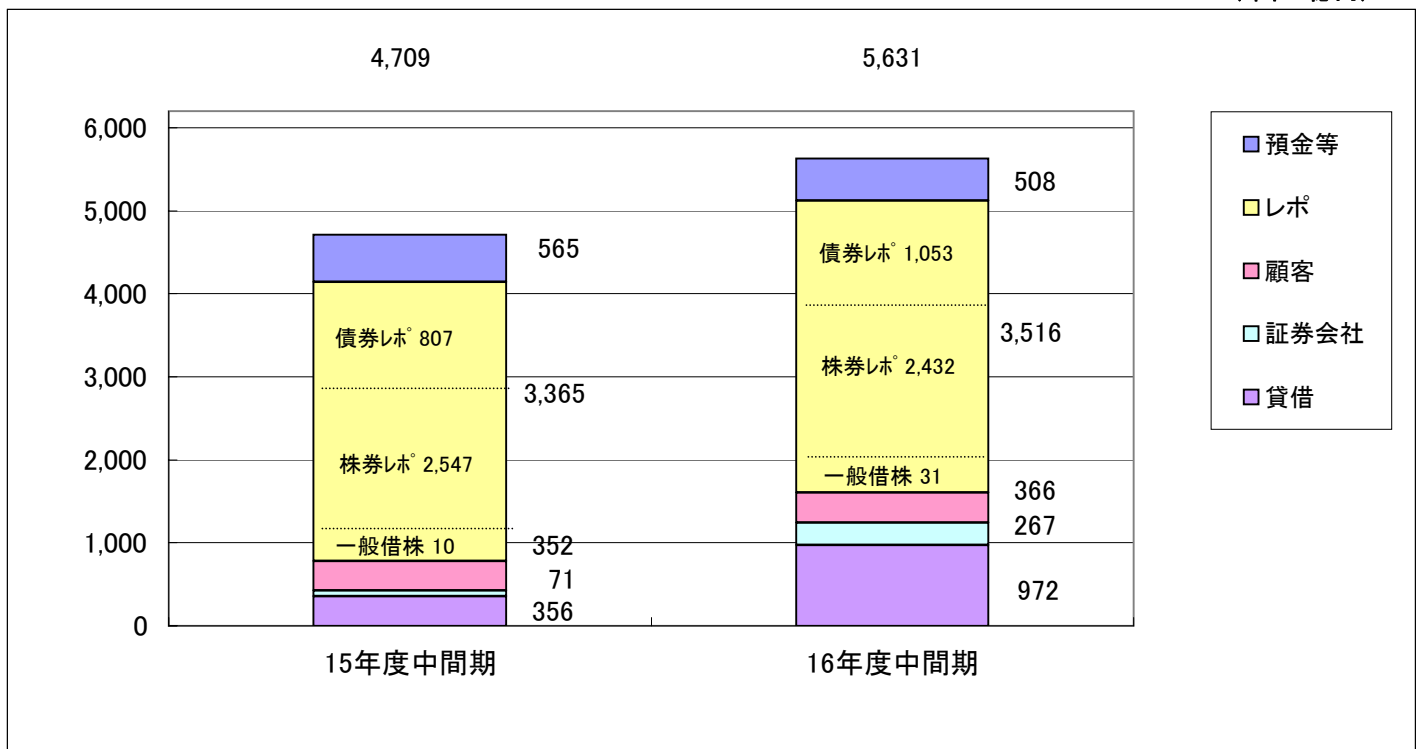
(1) 収支状況

(単位:百万円)



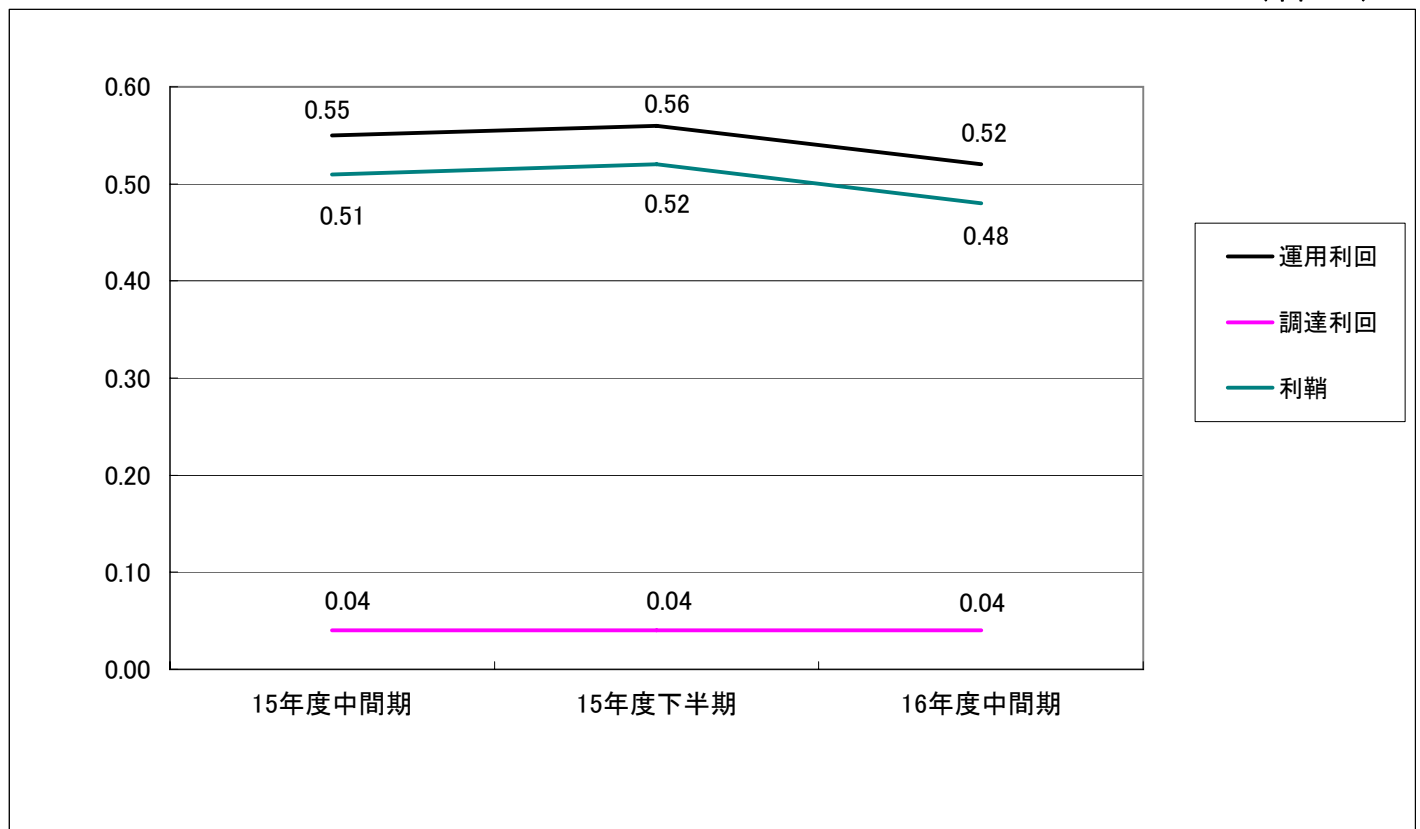
(2) 資金運用平均残高 — 貸借取引を中心に大幅増加(+921)

(単位: 億円)



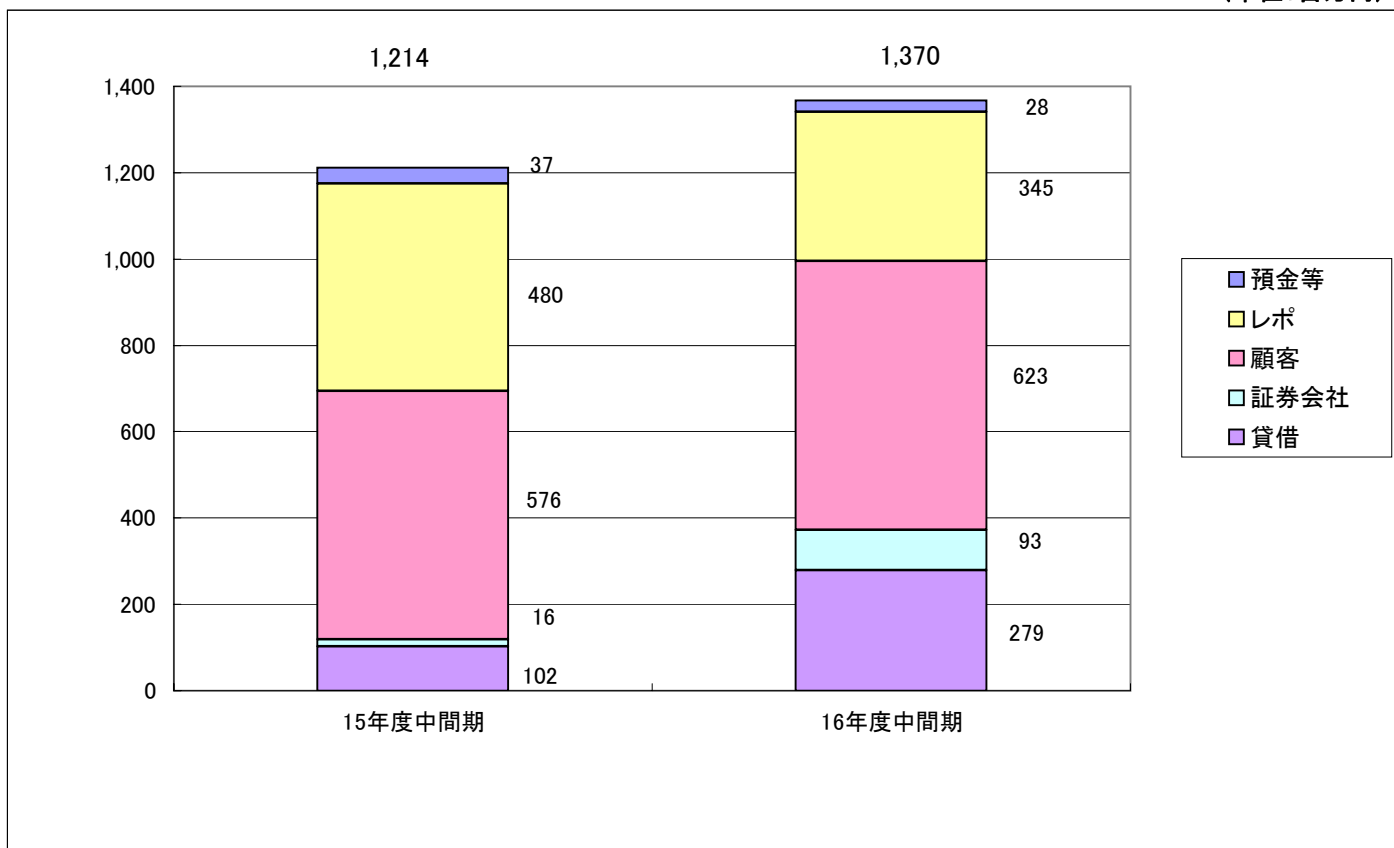
(3) 運用利回り・利鞘 — 運用利回り低下により利鞘は縮小

(単位: %)



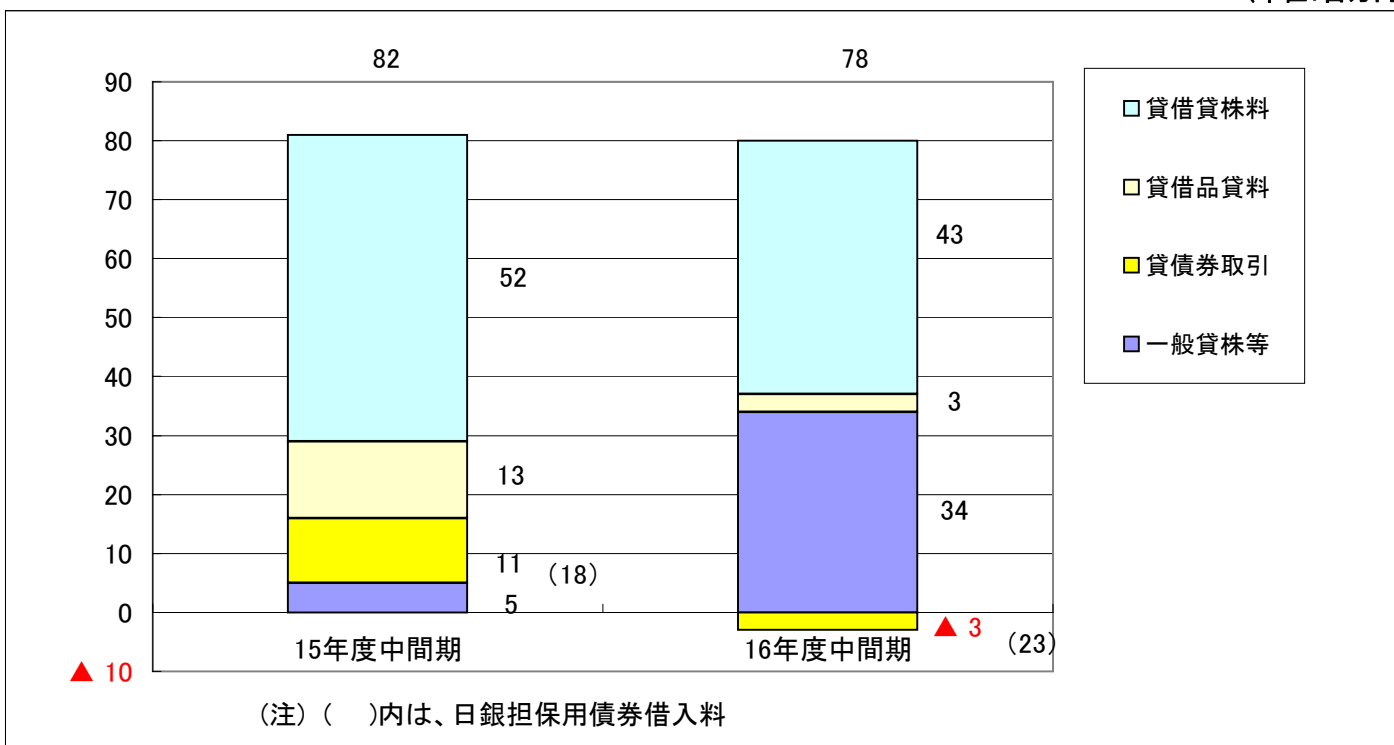
(4) 利鞘収入 - 貸借取引および信用サポートローンの増加を主因に増収(+156)

(単位:百万円)



(5) 有価証券貸付料(ネット) - 貸借取引貸株料・品貸料の減少を中心に減収

(単位:百万円)



(6)一般管理費 - 貸倒引当金繰入および減価償却費を中心に増加(+72)

(単位:百万円)

